

CHRISTMAS CONCERT 2017

リサイタル

～青春のベートーヴェンとファリアの舞曲、そしてロマン・ロラン～

西垣正信

クリスマス ギター リサイタル

12月23日(土 sut. 祝)
18:00

青春のベートーヴェン
麗しいJ嬢のためのアダージョ / エリーゼへの手紙 他

6つの踊り ファリア

ジャン・クリストフ物語

他

Masanobu Nisigaki
Xmas guitare recital

朗読 村田まち子

京都府
京都文化博物館
別館ホール(重要文化財)
12月23日(土)2017
午後6時開演 5時30分開場

一般 ¥3000 学生 ¥1500 税込み 全自由
チケットについてのご案内は裏面をご参照ください

主催 ソノリテ SONORITE
https://www.masanobu-nishigaki.com

プログラム
青春のベートーヴェンとファリアの6つの舞曲

●「ジャン・クリストフ物語」 ロマン・ロラン原作
宮本正清・宮本エイ子朗読 朗読 村田まち子
音楽 レフ・トルストイ ワルツ ショパン 前奏曲4番

● 麗しいJ嬢のためのアダージョ・・・青春のベートーヴェン
エリーゼへの手紙(バガテル「エリーゼのために」) / アダージョ ハ短調 / ソナチネ ハ長調 / 麗しいJ嬢のためのアダージョ 変ホ長調 / 主題と変奏 ニ長調

●ファリアの6つの舞曲
ドビュッシーの墓(ハバネラ) / 粉屋の踊り(ファルッカ 三角帽子より) / ナナ(子守唄) 七つのスペイン民謡より / スペイン舞曲(はかなき人生より / 火祭の踊り(恋は魔術師より) / 最後の踊り(ファルッカ 三角帽子より)

他 クリスマスの音楽 Romain Rolland / Beethoven / Falla



西垣 正信(ギター)
Masanobu Nisigaki



村田 まち子

朗読

京都府
京都文化博物館
財団法人 京都文化財団

京都市中京区高倉通三条北西角
京都市営地下鉄烏丸御池駅徒歩3分
阪急京都線 烏丸駅 徒歩7分
京阪本線 三条駅 徒歩15分

青春のベートーヴェンとファリアの舞曲、そしてロマン・ロラン

この年末のコンサートは今年11回を数え、私・西垣正信はここで演奏をすることとても楽しみにしています。この会は私が8～9年ほど前から独奏の活動を再開したとともに歩みがあります。多くのギター独奏曲の新編曲と新作を毎年この会で発表し続けてきました。シューベルト「アルペジオーネ・ソナタ」の独奏版、ドビュッシーの「喜びの島」の独奏版、ラヴェルの「ボレロ」の独奏版など・・・すべての作品が印象深いものです、どの作品も昨日のことにように思い出されます。私のような凡才が微かでも新たな創造を実現できたのも皆様のご支援、「集まり聞いていただいているかたの心の力」のおかげです。深く感謝いたします。

本年は年明けから財団法人ロマン・ロラン研究所の記念コンサートのためにギター・チェンバロ、ギター・琴の組み合わせによるベートーヴェンの演奏と編曲に没頭していました。その際にめったにない組み合わせ、琴の名手との協演による演奏から多くの示唆を受けました。

青春時代のベートーヴェンの自筆譜と昼夜を分かたずに寄り添っているうちに、そこにロマン・ロランが敬愛した楽聖の最晩年の作品の美のすべてがすでにあり、若い単純な楽譜のなかに後期の大きな宇宙が含まれていることに気づきました。そこで、この青春の作品「美しいJ嬢のためのアダージョ・・・」などベートーヴェン五曲をギター独奏に書き直し初演します。私にとってもこの一年を通じて取り組んだ仕事でした。

そのベートーヴェンの演奏の前にロマン・ロランによる『ジャン・クリストフ物語』を演奏とともにお届けします。幼いころの私自身にベートーヴェンの音楽を教えてくれた作家ロマン・ロランが書いたベートーヴェンやフランクをモデルにした有名な長編「ジャン・クリストフ」を、子どもたちに読み聞かせるために宮本正清と宮本エイ子が翻案したものです。私自身の音楽の原点のひとつです。

後半はスペインの天才ファリアの6つの舞曲です。後にフグナーはベートーヴェンの交響曲七番を「舞踏の精華」と讃えました。後のファリアはその部分を忠実に継承した作曲家です。今回はファリアの作品から6つの舞曲を選んでお贈りします。そのうちの「粉屋の踊り」「子守唄」「最後の踊り」の三曲は新たな編曲初演です。この作曲家は親友の詩人ロルカがファシストに銃殺されたのを期に、祖国を離れファシズムに抵抗し続けました。「核爆弾」や「戦争」という言葉が臆面もなく軽く口端に上る昨今、ベートーヴェン、ファリアやロランの美と世界観を大切なものと思うのです。

西垣 記



ベートーヴェン

ファリア



京都文化博物館外観

ホール内部

2017年12月23日(土) 開演18:00 開場17:30 一般 ¥3,000 学生¥1,500 税込み 全席自由席

チケット予約方法・取扱い先

□メールでの予約 **sonorite@koube.jp**

□お電話での予約 080-7026-4333(担当:四宮 しのみや)

□ネットでのご購入は **イープラス** でできます。

・「イープラス 西垣正信」で検索をすると予約ページが表示されます。短縮URL→http://goo.gl/cTPhmK もしくは右記QRコードからでも表示されます。

・ファミリーマート店舗での直接購入も可能です。店内の器械「Famiポート」でトップページメニューの「チケット」ボタンを押して画面の指示に従ってください。

□チケット取り扱い協力楽器店(あいうえお順)

三響楽器御影 078-851-2262/月光堂楽器店 075-781-1002/サロット 075-746-6813

中川弦楽器 06-6942-9992/ 初音屋楽器店 077-524-3255/フレット楽器ヤマサキ 06-6948-8239

イープラスチケットQRコード



主催 ソノリテ SONORITE

(画像上の文字をクリックすると各案内のページにリンクします。)

この京都でのコンサートシリーズは私が独奏活動を再開した十年前からともにあります。以来殆どの作品を自身の編曲と音楽的な冒険を皆様のご理解のもと続けさせていただきました。皆様のご支援には深い感謝があります。同時にまだ十年目の新人のような気持ちで、音楽の末席 で演奏と作品を残していきたい気持ちには溢れています。

京都では、前半は全部ベートーヴェンの作品をギターソロに書いたものをお贈りします。若いベートーヴェンがマンドリンとチェンバロのために書いた全作品をギター独奏で演奏をします。いままで、メジャーには顧みられることの少ないこの作品群を昨年から精査して、この自筆のなかに私はなににも代えがたい天才の光を見ました。ベートーヴェンの有名な中期の作品群にもまさり、最晩年の名作の予言をこの青春の楽譜のなかに見ました。

なによりも、このシリーズ応援してくださっている宮本エイ子様がこの秋にフランス国の勲章を 叙勲され氏によるロマン・ロラン「ジャン・クリストフ」の読み聞かせ版「ジャン・クリスト フ物語」を村田まち子氏の朗読と私の演奏でお届けできることもうれしいことです。思えば、幼 いころベートーヴェンという作曲家、音楽の広大な世界を知ったのもロランの「ベートーヴェンの生涯」を子供用に書き下して下さった宮本正清先生の「ベートーヴェン物語」という児童書 に接し衝撃を受けたのが始まりでした。

後半はファリアの5つの踊りを演奏します。ファリアはそのわかりやすさから、日本では軽視されがちですが、構成の厳しさはスペインのベートーヴェンのように感じます。そしてなによりも、友人の詩人ロルカがファシズムに惨殺されて以来、最近まで続いたスペインのファシズム抵抗し続けた作曲家です。

「核」や「戦争」といった言葉が反省を持たずに軽々しく発せられる現代の警鐘としての美しさ「民衆の命と踊り」を再現したいと思います。

私の音楽の道は端緒に着いたばかりですが、もしお運びいただけましたら幸甚です。